

「2010 夏イベント」

～森を学ぼう！小枝工作を楽しもう！～

「第9回 夏休み親子森林教室・工作体験」

千葉森林管理事務所 (22.8.5(木)晴)

雲ひとつない晴天の中、千葉森林管理事務所の夏の恒例工作イベントを今年も開催しました。毎年夏休みの自由研究の作品作り、親子の夏の思い出作りの場として、参加者の皆様から好評を頂いております。

はじめに千葉森林管理所の隣にある『野鳥の森』にてパネルや実際に扱う造林用具を使ってデモンストレーションを行い、植え付けから間伐までの森の手入れについて知ってもらいました。

チェーンソーなど作業用機械を初めて見たのか、興味深々で見ている子どももいました。



工作体験では丸太・小枝・木の実などを使って自由な発想で作ってもらいます。工作練習の鉛筆作りでナイフを保護者と子供が一緒に持って、協力して作製する姿が見られました。たくさんの材料からどんな物を作ればいいのか、初めは悩んでいる子もいましたが、一度作り始めるといろいろとアイデアが浮かんできたようです。イメージを膨らませながら、どう工夫すればできるのか

スタッフも一緒に悩んで手伝い、親子で楽しそうに作っていました。昼食の間、子どもたちは空いた時間に『野鳥の森』でタネ飛ばしをしていました。牛乳パックで作ったラワンの種子の模型を針金ハンガーで飛ばし、どこまで遠く高く飛ばせるか楽しそうに遊んでいました。

のこぎりやナイフで材料を慎重に切ったり、バーニングペンで木材に文字や絵を書いたり、野外のテントではドリルや糸のこなどスタッフが手伝ったり、初めて使ういろいろな道具を駆使してさまざまな作品



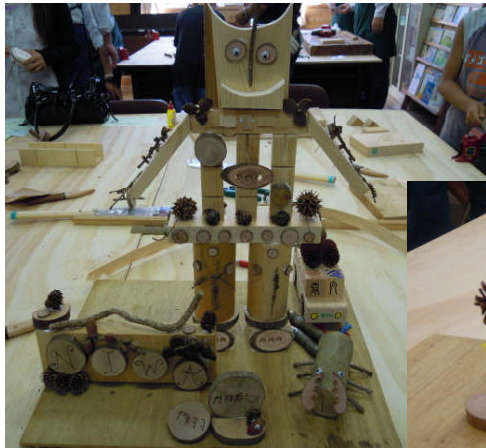
が出来上がりました。

小物の雑貨をたくさん作ったり、一つの大作を時間かけて作ったり一人ひとり違うやり方で熱中していました。中には参加できなかった弟のためにお土産を作っていた子もいました。

たくさんの作品の持ち帰りが大変そうでしたが、皆さん大事に持って嬉しそうでした。

作品集

他にもいろいろ作りました。



巨大ロボット



動物たち



クワガタムシ・カブトムシ



ステゴザウルス



セミと・・・



壁掛けフック・モービル



空飛ぶ車



ハシゴ車・オブジェ



たくさん作りました

「子ども樹木博士 in 久留里」

君津市森林体験交流センター (22.8.1(日)晴)

今年は『巨樹・古木フォーラム in きみつ』(7月8日～8月22日)内のプレイベントのひとつとして開催されました。フィールドとして国有林が活用されているため、当所も毎年参加しています。

小学生を対象に君津市久留里にある久留里城周辺の森林を歩き、千葉県森林インストラクター会の方に案内してもらいながらサクラやモミジなど樹木の名前や特徴を覚えていきます。



当日は夏真っ盛りで日差しが強く、湿度が高かったですが、森林の中に入るとさわやかな風が汗ばんだ体に気持ちよく流れていました。子どもも保護者の方も一緒に樹木の話聞きながら、楽しんでいました。時おり、音楽隊の草笛の音が聞こえてきました。

一時間ほど遊歩道を巡った後、センター内にて一人ひとり20種類の樹木の枝を見て名前を解答用紙に書いていきます。

採点を待っている間、野外にて里山クラフト研究会は火起こし体験、当所では木工クラフトを実施しました。認定書を受け取った後も、続きをやるろうと集まってきました。火起こしでは無事火が着き、歓声が上がりました。クラフトでは広葉樹の輪切りを自分の好きなように繋げて動物やネームプレートなどオリジナルの作品が出来上がり、嬉しそうに持ち帰りました。

